

【湯野地区】

市長と語ろう！もやいミーティング概要

- 1 日時 平成25年12月13日（金） 18:30～20:00
- 2 場所 湯野公民館
- 3 参加者数 32名
- 4 出席者 市長 木村 健一郎
副市長 青木 龍一
企画総務部長 住田 英昭
行政改革推進室長 久村 信幸
- 5 会議録

（湯野 - 01：放課後子ども教室の体制整備）

Q) 湯野小学校の児童のために、今年の5月からボランティアを募って、月・水・金曜日の18時まで放課後子ども教室を実施している。

実績を積んで2年経過したら、児童クラブに格上げしてほしい。

市長) 国も制度の見直しをしているようだが、地域の大人が地域の子どもの見守り、育て、教育することは大切だと考えている。市としてバックアップできることがあれば対応したい。

（湯野 - 02：信号機の設置）

Q) 県道から小学校に入る交差点（県営住宅付近）に手押し式でも良いので歩行者信号を設置してほしい。

市長) 実情は把握している。県の公安委員会に要望内容を伝える。

（湯野 - 03：公園の遊具）

Q) 公園の遊具がブランコしかない。子どもを遊ばせるため、親が車で遠方まで連れて行っている。幼稚園の遊具も撤去されたまま。子どもが遊べる場所や遊具を整備してほしい。

市長) 優先順位を検証して、子育て環境をしっかりと整えたい。

(湯野 - 04 : 湯野温泉に対する地域振興)

Q) 湯野地区が住みよい温泉地と情報発信してほしい。温泉病院もあるので、福祉・健康を維持する環境を構築すれば、温泉客も増えるし、高齢者や子どもたちも暮らしやすくなる。モデル地域としてサポートしてほしい。

市長) 温泉での癒しが切り口と考えている。市がファシリテーターを派遣するので、31コミュニティすべての地域でワークショップを実施してもらいたい。湯野地区でも取り組んで、まずは地域の皆さんで課題などを研究してほしい。

(湯野 - 05 : 湯野荘の存続)

Q) 老朽化・採算性・耐震性を考えると再配置計画により、湯野荘の存続が危ういのは理解できるが、入浴者数は相当ある。残すことはできないか。

市長) 施設白書をご覧いただき、公共施設再配置基本方針案のパブリックコメントにも意見をいただきたい。

副市長) 数年前は黒字であったが、レジオネラ菌の騒動や宿泊・飲食客の減少また顧客ニーズの変化などにより、利用者が減少している。本来なら設備投資をして利用者増を図るべきだが、今も借金を抱えているので、そこまで踏み込めなかった。現在、閑散期のイベント開催などソフト面で利用者増を図るよう職員も努力している。将来的には、公共施設として維持すべきか議論を深めたい。

(湯野 - 06 : 道の駅へのバス送迎)

Q) 移動販売車ではなく、バス等で送迎することで店を繁盛させては。

市長) 他市の事例もある。運営主体の周南ツーリズム協議会に、意向を伝える。

(湯野 - 07 : 多目的バス導入)

Q) 湯野・戸田・夜市地区を巡回するバスを導入し、幼稚園の送迎・高齢者の移動支援・道の駅出荷者の商品集荷など多機能の活用をしてみれば。

市長) バスの導入には多額の経費を要し、地域にも応分の負担が伴うので、経済性と事業効果を考えて検討し、判断したい。

(湯野 - 08 : 市街化調整区域の撤廃)

Q) 市街化調整区域の農業は廃れている。誰でも家を建てられるように、市街化調整区域を解除してほしい。

市長) 1次産業は重要であり、農林業を支える政策が必要。全国的な人口減少の中で、まばらな開発はすべきでないと考えている。

(湯野 - 09 : 景観環境の整備)

Q) 河川・森林など景観を含めた地域環境の整備をしてほしい。城山・観音岳などの整備に地域ぐるみで取り組んでいるが、行政も支援してほしい。

市長) 実情は承知している。景観まちづくりスタート事業などの制度もあるので、地域とともに環境整備にしっかり取り組みたい。

(湯野 - 10 : 表彰制度)

Q) 功績のあった湯野地区の3名を表彰してほしい。

市長) 提案のあった3名の活躍は伺っている。表彰は表彰制度に沿って実施しているが、別に市長感謝状制度について考えてみたい。

(湯野 - 11 : 行政古文書の取扱い)

Q) 湯野村役場時代からの行政文書が、支所の倉庫に段ボールで積まれている。適切・丁寧な保存をお願いしたい。

市長) 各支所に調査をさせ、現状を把握する。文書の保管方法も現物保管でない有効な手段を考える必要がある。大切な資料なので、安易に処分せず将来につなげたい。

(湯野 - 12 : 農業支援)

Q) 農家の高齢化・後継者不足による荒廃農地の増加の現状を踏まえ、農地の有効活用及び6次産業化に向けた指導・支援をしてほしい。

市長) 国・県との連携、または道の駅などを活用して農業法人等の大規模農業化や6次産業へ取り組み、農業の振興につなげたい。

(湯野 - 13 : サンサンロードの整備)

Q) サンサンロードの整備や清掃に小学生や保護者など地域で取り組んでいるが、子どもの人数が減って困難になっている。市にも支援をしてほしい。

市長) 施工は県の河川改修にて実施した。要望を県の担当に伝える。

(湯野 - 14 : 支所の統合)

Q) 湯野・戸田・夜市支所を統合するのであれば、道の駅の敷地内に西部3地区の拠点施設を整備してほしい。

市長) 支所の統合は考えていない。地域の身近なところで市民サービスを受けられる機能は残す。

要約一覧

湯野地区

管理 NO	内容	担当			質問	回答
湯野-01	放課後子ども教室の体制整備	生涯学習課			今年の5月からボランティアで放課後子ども教室を実施している。実績を積んで2年経過したら、児童クラブに格上げしてほしい。	市としてバックアップできることがあれば対応したい。
湯野-02	信号機の設置	生活安全課			県道から小学校に入る交差点に歩行者信号を設置してほしい。	県の公安委員会に要望内容を伝える。
湯野-03	公園の遊具	公園花とみどり課	教育政策課		公園の遊具がブランコしかなく、幼稚園の遊具も撤去されたままである。子どもが遊べる場所や遊具を整備してほしい。	優先順位を検証し、子育て環境をしっかりと整えたい。
湯野-04	湯野温泉に対する地域振興	観光交流課			湯野地区が住みよい温泉地と情報発信してほしい。福祉・健康を維持する里のモデル地域としてサポートしてほしい。	温泉での癒しがコンベンションの切り口と考えている。地域の皆さんで課題などを研究してほしい。
湯野-05	湯野荘の存続	観光交流課			湯野荘を残すことはできないか。	パブリックコメントにも意見をいただきたい。将来的には、公共施設として維持すべきか議論を深めたい。
湯野-06	道の駅へのバス送迎	道の駅推進課			移動販売車ではなく、バス等で送迎することで店を繁盛させてみては。	運営主体の周南ツーリズム協議会に伝える。
湯野-07	多目的バス導入	生活安全課	道の駅推進室	教育政策課	湯野・戸田・夜市地区を巡回するバスを導入し、幼稚園の送迎・高齢者の移動支援・道の駅出荷者の商品集荷など多機能の活用をしてみれば。	多額の経費を要し、地域にも応分の負担が伴うので、経済性と事業効果を考えて検討し、判断したい。
湯野-08	市街化調整区域の撤廃	都市計画課			誰でも家を建てられるように、市街化調整区域を解除してほしい。	農林業を支える政策が必要であり、全国的な人口減少の中で、まばらな開発はすべきでない。
湯野-09	景観環境の整備	都市計画課			景観を含めた地域環境の整備をしてほしい。城山・観音岳などの整備を行政も支援してほしい。	地域とともに環境整備に取り組みたい。

管理 NO	内容	担当		質問	回答
湯野-10	表彰制度	総務課		功績のあった湯野地区の3名を表彰してほしい。	現行の表彰制度とは別に、市長感謝状について考えたい。
湯野-11	行政古文書の取扱い	総務課		湯野村役場時代からの行政文書の適切・丁寧な保存をお願いしたい。	各支所に調査をさせ、現状把握をし、将来につなげたい。
湯野-12	農業支援	農林課		農地の有効活用及び6次産業化に向けた指導・支援をしてほしい。	国・県との連携、道の駅などの活用により、農業法人等による大規模農業化・6次産業化へ取組み、農業の振興につなげたい。
湯野-13	サンサンロードの整備			サンサンロードの整備や清掃に地域で取り組んでいるが、市にも支援をしてほしい。	県の担当に要望を伝える。
湯野-14	支所の統合	行政改革推進室	コミュニティ推進課	湯野・戸田・夜市支所を統合するのであれば、道の駅の敷地内に西部3地区の拠点施設を整備してほしい。	支所の統合は考えていない。地域の身近なところで市民サービスを受けられる機能は残す。